

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川 俣 勝 慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 医療法人葛会 担当者名 立川 美穂

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年10月27日(木) 18:30~21:00
実施場所	介護老人保健施設いちご苑 6階大小会議室 (一第1部一) 介護老人保健施設いちご苑 6階職員食堂 (一第2部一)
参加者と人数	(医療法人葛会職員 73名、職員の子供 9名、メサフレンドシップ 7名 医師2名) 合計 91名
派遣講師名と出身国	オレリー・ノエル 様 フランス国・女性・県国際交流員
活動の内容	<p>『言葉やマナーを通して、様々な国の文化を知りたい。そして、生きて来た環境が違っていても、共通文化や課題を発見する機会を得ることで、日々の業務に追われる生活だけではなく、広く世界に向けて働き続けられる私たちを夢見て行きたい。』をねらいとして、今年で5回目の交流会をお願いしました。</p> <p>18:30 一第1部一</p> <p>○オープニングセレモニー(ウェルカムフラダンス) ハイビスカスチームによる歓迎のフラダンス</p> <p>18:35</p> <p>○廣木看護部長挨拶 東日本大震災時の原発事故でも大変お世話になっていますフランス国からのゲスト、オレリー・ノエル様をお招きし、交流会を開催できることを光栄におもいます・・・。</p> <p>18:45</p> <p>○オレリー・ノエル様タイム (パワーポイント) 自己紹介(出身地紹介、来日及び堪能な日本語の経緯など) フランス国の名所(城のイメージ)・フランスの日、日本との共通点、日本の好きな県・場所、食事などの紹介</p> <p>19:20 一第2部一</p> <p>○栄養サポートチームによるハンドメイドパーティー</p> <p>① 井上管理栄養士による日本の食卓の説明、本日のメニューの説明 (食事の由来、多国籍及び国内各地の融合文化から・・・)</p> <p>② 井上宏司理事長歓迎挨拶(フランス語)、フランスワインについてなど</p> <p>③ 八木医師による乾杯の挨拶及び音頭</p> <p>④ 立食パーティー (隣室に、キッズルーム、メサフレンドシップによるバザー) 第1部の質疑応答などを兼ねる懇親会</p> <p>○橋本経理部長のかけ声による一本締め</p> <p>20:50</p> <p>○全職員アーチによるお見送り</p>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	とても親しみやすく、質問にも丁寧に答えて下さいました。パワーポイントでのフラ

	<p>ンス紹介は、エッフェル塔、景色などの写真を沢山掲載していて、とてもわかりやすくまとめてありました。短い時間でしたが、フランス国に興味をもって、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回の交流会で、諸外国との交流会の魅力を更に感じ、今後も続けて行きたいと思いました。</p>
<p>参加者の感想 (アンケートから)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義だけでなく、一緒に食事をしたりすることで、コミュニケーションもとりやすくとても楽しかった。 ・ フランスの話、美しい景色を観てフランス国に興味を持ちました。ぜひ、旅行に行きたい。 ・ 外国に行かなくても、このような交流会をしてもらっただけで、その国の歴史や文化、習慣などわかるのでとてもよかった。 ・ 日本語がとても聞き取りやすく、笑顔がとても素敵な方でした。ぜひ、またお会いしたいです。 ・ 大震災があったのにも関わらず、日本に残って仕事を続けていることに感心しました。短い時間の中で、仕事のこと、フランス国のことを聞いてよかったです。 ・ フランス人にも日本食の寿司が、ヘルシーさとお洒落感で親しまれていると聴き嬉しい気がしました。
<p>担当者の感想</p>	<p>マナーというプロトコルが世界を繋ぐことを実感したひと時でした。短い時間で何かを伝えることは難しいけれど、『思いやり』という共通文化、私たちにとって異国フランスへの『興味』を十分に伝えて下さったように思います。講演内容に、最近『フランス人らしさ』という特徴を表現するのは難しいと述べておられ、食文化同様に、現代では、多彩な国々の融合文化から、新たな人々の考え方や生活文化が誕生し変化して来ているのだと感じました。しかし、母国を離れても様々な場所で、国民同士が7月14日を『フランスの日』として大切にしておられる愛国精神が心に残りました。どんなに生活文化が変化しても愛国精神こそプライドではないかと感じました。私たちも自国を愛し、それぞれの立場で世界にコラゴできる国民としての成長責任を感じました。何より印象的だったのは、もてなされる側のマナーの一流さがフレンドリーに伝わり、参加者の心を豊かにして下さったことです。今年もまた一つ見聞が広がり、参加者の視野拡大を図れたことに感謝いたします。</p> <p>ご多忙にも関わらず快くお引き受け下さったオレリー・ノエル様、最高のひと時を有り難うございました。ワールドキャラバン関係者の皆様、そして今年も最後までお付き合い下さった川瀬様ご夫妻、野上様、中野様ご夫妻はじめメサフレンドシップの皆様にも心より感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(廣木とよ子 記)</p>

